

3. 山梨市の地域特性

3. 山梨市の地域特性

3.1 自然特性

(1) 位置と地勢

山梨市は山梨県の北東部、甲府盆地の東部に位置し、北は埼玉県、長野県と接しています。西部から南部にかけては甲府市及び笛吹市、東部は甲州市、北部は大滝村（埼玉県）、川上村（長野県）に囲まれています。

地域の北部は山岳・丘陵地帯で、秩父山系などの山々は秩父多摩甲斐国立公園に指定されています。

秩父山系に源を発する笛吹川は、三富地域から牧丘・山梨地域へと流れています。笛吹川の右岸は平坦地から丘陵地域となっており、平坦地は市街地に、丘陵地は果樹栽培など農業地となっています。

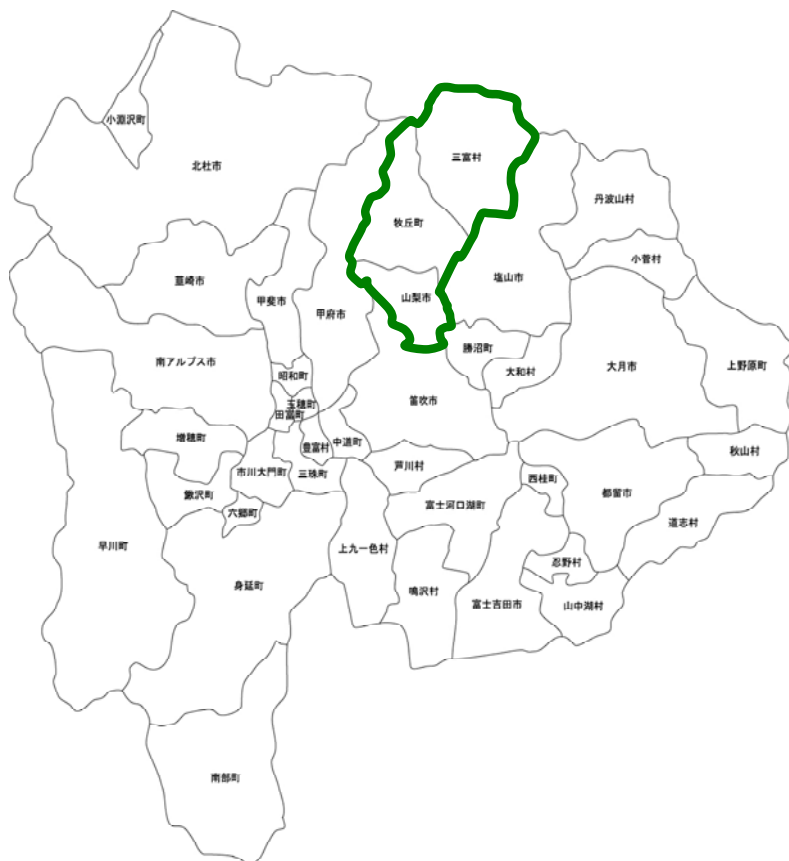


図 3. 1-1 山梨市の位置

①山梨地域

- 山梨市の南部地域であり、東を甲州市、南を笛吹市、西を甲府市に接する
- 総面積 53.11km²、東西約 10.8km、南北約 8.5km
- 標高 299m（一町田中）～1,376m（帯那山）、市役所位置は標高 342.88m
- 市内中央部を南北に笛吹川が流れ、東から注ぐ重川・日川の三河川がもたらす肥沃な土地に広がる果実郷は桃・葡萄ともに日本一の生産量を誇る

②牧丘地域

- 山梨市の中部地域であり、北は一部長野県に接し、東は甲州市、西は甲府市に接する
- 総面積は 101.85km²、東西約 13.5km、南北約 17.5km で南北にやや長い地形
- 四方を山に囲まれた標高 420m～2,600m の間にある
- 耕地や集落は、地域の南を流れる鼓川、東南部を流れる琴川、東端を流れる笛吹川の各流域沿いの南面丘陵地域に集中
- その周辺の標高 420m～900m にかけて農地が分布
- 気候は内陸型で寒暖の差が大きい
- 土地は肥沃で生産性が高い
- 果物の栽培が盛んで、ブドウの中でも「黒いダイヤ」の別名を持つ「巨峰」の日本一の産地

③三富地域

- 山梨市の北部地域であり、北は長野県と埼玉県との県境に接し、東は甲州市に接する。
- 急峻な地形で平地が少なく、2,000m 級の山々に囲まれている。北部は秩父山系に属する山地となっており、秩父多摩甲斐国立公園に指定されている
- 総面積は 134.91km²、東西 13.125km、南北 17km の南北に長い地形
- 標高は 600m（上柚木塩原地区）～2,592m（国師ヶ岳）にわたる
- 地域の中央やや東を南北に笛吹川が流れ、集落のほとんどが河川沿いの街道に面した平坦地や斜面に形成されている

(2) 面積・土地利用

合併により、総面積は 28,987ha (289.87k m²) となり、山梨県の総面積の 6.5% を占めています。

土地の利用状況は、総面積のうち山林・原野が 23,853ha で全体の 82.4% を占めており、この他農用地 2,624ha(9.1%)、宅地 744ha(2.5%) となっています。

地域別では山梨地域では農用地の割合が約 3 分の 1 あるのに対し、牧丘地域では約 85%、三富地域では 97% もの割合が山林・原野で占められています。山梨市全体でも 8 割以上が山林・原野となっています。

表 3.1-2 山梨市の土地利用 (単位:ha)

	山梨		牧丘		三富		山梨市	
農用地	1,775	33.4%	653	6.4%	196	1.5%	2,624	9.1%
宅地	558	10.5%	159	1.6%	27	0.2%	744	2.5%
山林・原野	2,110	39.8%	8,645	84.9%	13,098	97.0%	23,853	82.3%
雑種地・その他	868	16.3%	728	7.1%	170	1.3%	1,766	6.1%
合計	5,311	100.0%	10,185	100.0%	13,491	100.0%	28,987	100.0%

(資料:旧山梨市統計・旧牧丘町町政要覧・旧三富村村政要覧より作成)

注:なお以下の 100 分率で表示しているグラフ・表では四捨五入の関係で合計が 100 とならない場合があります。

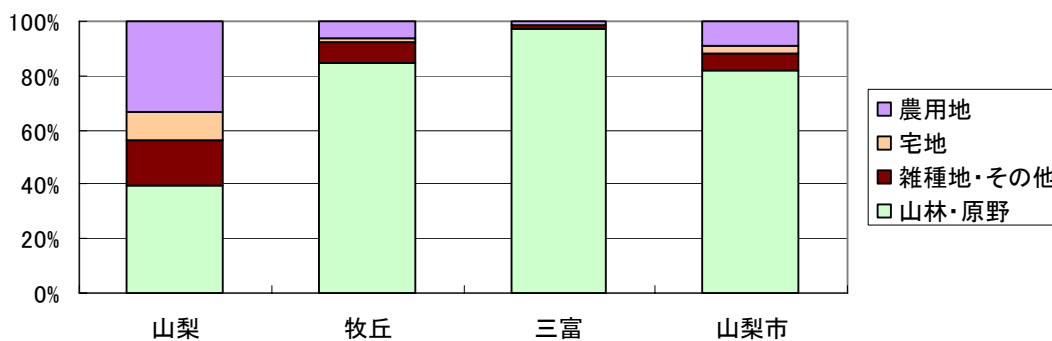


図 3.1-2 山梨市の土地利用

(3) 気象

山梨市の近傍のアメダス測候所である甲府測候所の気象データ（1971～2000 年平均値）によると、年平均気温は 14.3℃、月平均気温で最暖月は 8 月で 32.0℃、最寒月は 1 月で -2.7℃となっています。夏には最高気温が 30℃を超えることがある一方、冬は最低気温が氷点下になる日があるように、内陸型で寒暖の差が大きいのが特徴です。積雪は北部の三富地域の山間部で見られますが、南部では多くありません。

日照時間は年間約 2,100 時間で全国平均（1,934 時間）に比べて長くなっています。その一方降水量は約 1,100mm と全国平均（1,714mm）に比べてかなり少なくなっており、日照条件に恵まれた地域です。

風速についてはあまり強くはありませんが、谷に沿った風の通り道があります。北部の秩父山系から谷に向かって吹き降ろす風が特徴的です。地上 30m 高さの風速を示す風況マップ（資料:NEDO 技術開発機構）では北部や中西部の山岳や丘陵など標高の高い地域で風が強くなっています。

①平均気温等

（甲府測候所（北緯 35° 40′ / 東経 138° 33′ ）、1970 年～2000 年平均値、資料:アメダスによる）

表 3.1-2 平均気温等

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温(℃)	2.5	3.7	7.6	13.5	18.0	21.6	25.1	26.2	22.2	16.1	10.1	4.5	14.3
平均最高気温(℃)	8.6	9.8	13.8	20.0	24.4	26.9	30.4	32.0	27.3	21.5	16.1	10.9	20.1
平均最低気温(℃)	-2.7	-1.6	2.2	8.1	12.8	17.6	21.4	22.4	18.5	11.7	5.1	-0.8	9.6
月間降水量(mm)	34	45	83	83	78	131	133	146	191	108	55	24	1,110
月間日照時間(h)	201	186	198	193	201	142	161	189	134	156	171	197	2,129
平均風速(m/s)	2.6	2.9	2.9	2.7	2.4	2.1	1.9	2.1	1.7	1.7	1.8	2.1	2.2

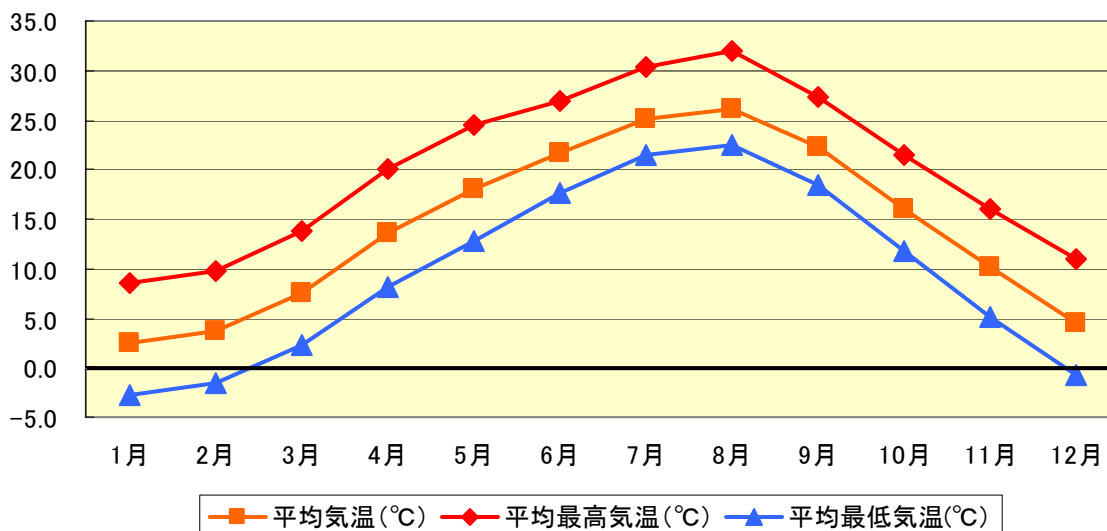


図 3.1-3 各種年間平均気温の推移

②降水量と日照時間・日射量

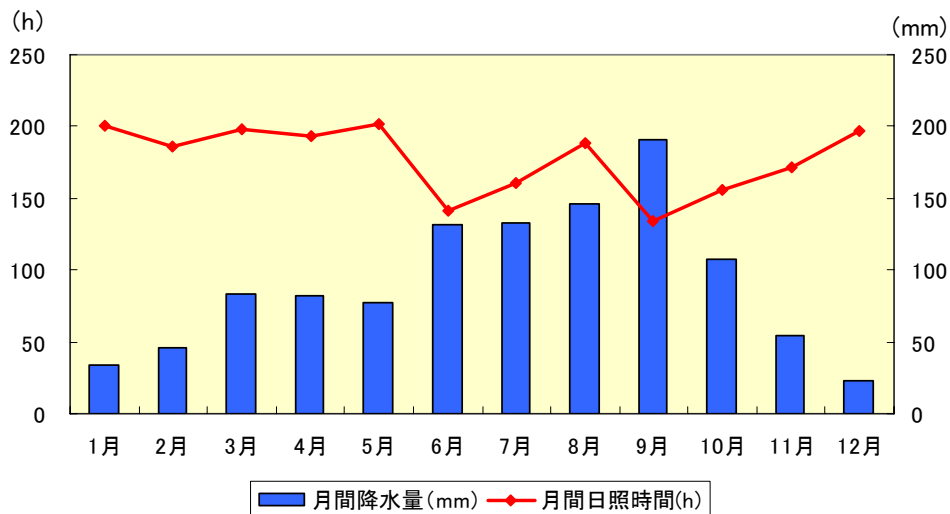


図 3.1-4 月間降水量と日照時間の関係

③平均風速と風況マップ

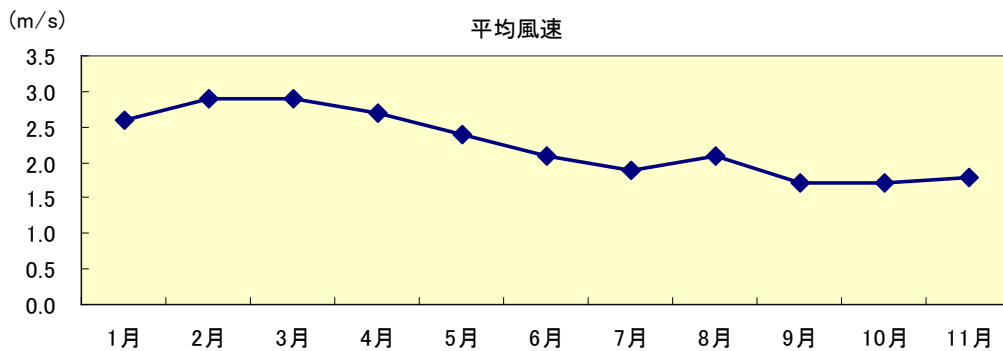


図 3.1-5 平均風速 (甲府測候所)

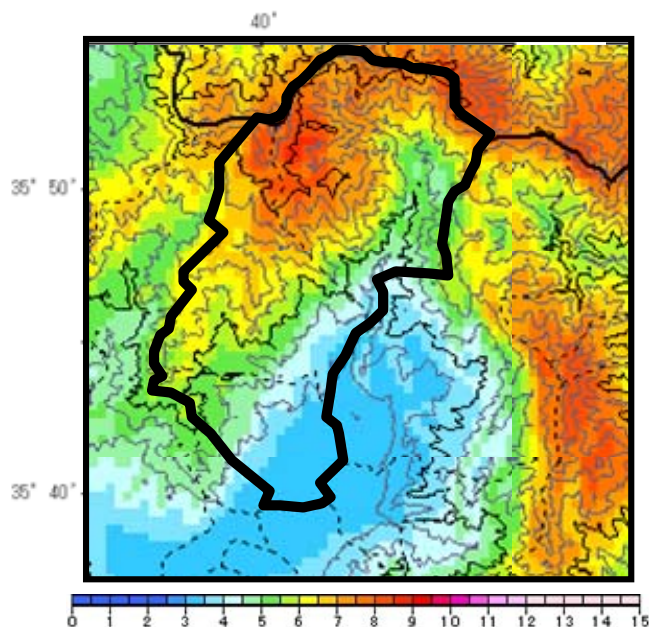


図 3.1-6 風況マップ (30m 高さ)

3.2 社会特性

(1) 人口と世帯

山梨市の平成12年国勢調査（山梨・牧丘・三富各地域の合計）人口は39,797人で、平成7年の39,529人に比べて増加していました。しかし、最新の平成17年国勢調査の速報値は38,684人と減少しています。

年齢別の構成比では、平成12年では0～14歳が15.2%、15～64歳が62.2%、65歳以上が22.6%となっており、山梨県全体の年齢別構成比との比較では65歳以上の人口が占める割合が高く、高齢化が進んでいます。

世帯数では平成7年の12,046世帯から平成12年では12,786世帯に増加した一方、世帯当り人口は3.28人から3.11人に減少しており核家族化の進行が見られます。

①人口と世帯数

表 3.2-1 山梨市の人口と世帯数

	山梨			牧丘			三富			山梨市		
	人口	世帯数	世帯当り人口	人口	世帯数	世帯当り人口	人口	世帯数	世帯当り人口	人口	世帯数	世帯当り人口
平成7年	31,825	9,670	3.29	6,248	1,866	3.35	1,456	510	2.85	39,529	12,046	3.28
平成12年	32,505	10,537	3.08	5,920	1,822	3.25	1,372	427	3.21	39,797	12,786	3.11

(資料:国勢調査)

②年齢3区分別構成比

表 3.2-2 山梨市・県の年齢3区分構成比

	山梨		牧丘		三富		山梨市		山梨県	
14歳以下	5,045	15.5%	782	13.2%	205	14.9%	6,032	15.2%	137,594	15.5%
15～64歳	20,663	63.6%	3,378	57.1%	742	54.1%	24,783	62.2%	576,767	65.0%
65歳以上	6,797	20.9%	1,760	29.7%	425	31.0%	8,982	22.6%	173,580	19.5%
	32,505	100%	5,920	100%	1,372	100%	39,797	100%	887,941	100%

(資料:国勢調査(平成12年))

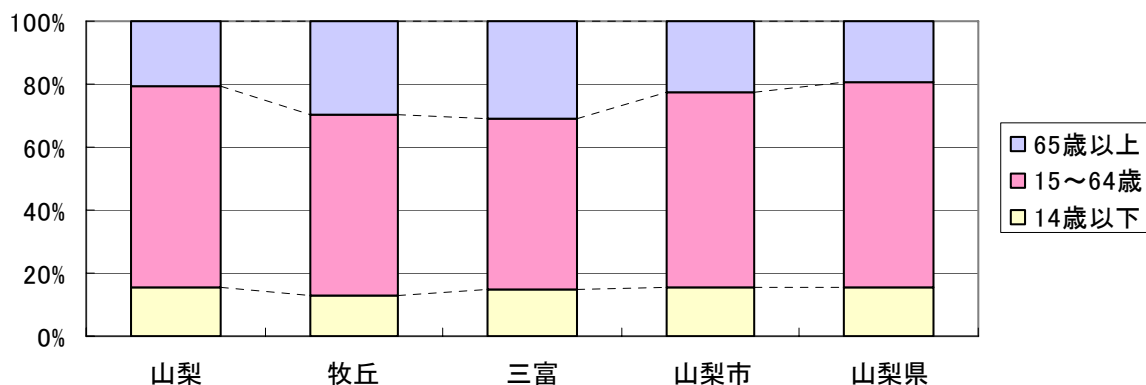


図 3.2-1 山梨市の年齢3区分人口

(2) 産業

①産業3区分別構成比

山梨市の産業別就業人口の構成比は第1次産業が20.8%、第2次産業が26.9%、第3次産業が52.3%となっています。

地域別では、山梨地域と三富地域で第3次産業就業者数割合が多くなっています。

また、牧丘地域では第1次産業就業者数が多くなっています。

農業は山梨市の重要な産業ですが、近年構成比率は減少しています。

表 3.2-3 山梨市の産業3区分別構成比

	山梨		牧丘		三富		山梨市	
第1次産業	3,043	17.9%	1,245	36.3%	81	12.9%	4,370	20.8%
第2次産業	4,643	27.4%	842	24.5%	167	26.5%	5,653	26.9%
第3次産業	9,274	54.7%	1,344	39.2%	382	60.6%	11,001	52.3%
	16,960	100%	3,431	100%	630	100%	21,023	100%

* 山梨地域の列の合計が一致しないのは山梨地域には分類不能が1人いるため

(資料:国勢調査(平成12年))

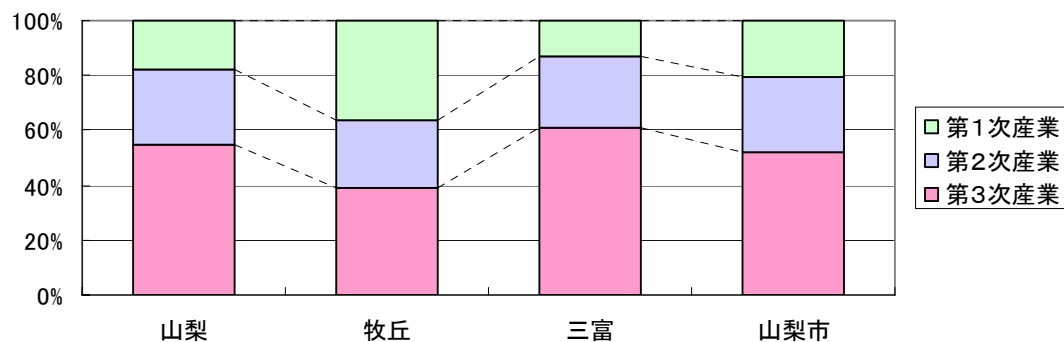


図 3.2-2 山梨市の産業3区分別構成比

②農業

山梨市は果樹栽培を中心とする農業が盛んです。肥沃な土地を生かした高品質な農作物を生産しています。

また、ぶどうや桃、さくらんぼ狩りといった観光農園は多くの観光客が訪れる所となっており、笛吹川フルーツ公園、国道 140 号沿いに立地する道の駅などでは農業と関連した地域の物産が特産品として販売されるなど、第 3 次産業の基盤としても重要です。

表 3.2-4 山梨市の作物別栽培面積と収穫量

	山梨		牧丘		三富		山梨市	
	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)	栽培面積 (ha)	収穫量 (t)
ぶどう	595	7,370	352	3,770	6	71	953	11,211
桃	608	10,800	19	321	4	64	631	11,185
かき	43	459	13	83	1	10	57	552
日本なし	2	15	0	0	0	0	2	15
りんご	3	39	26	363	4	53	33	455
すもも	37	309	21	226	7	62	65	597
おおとう	32	149	6	23	0	0	38	172
うめ	42	209	11	47	2	8	55	264
キウイフルーツ	13	283	5	86	0	0	18	369
野菜類	66	996	47	664	10	111	123	1,771
水稻	11	56	11	497	0	0	22	553

(資料: 峡東版農林業市町村別データ(平成 16 年版: 関東農政局峡東統計・情報センター山梨農林統計協会))

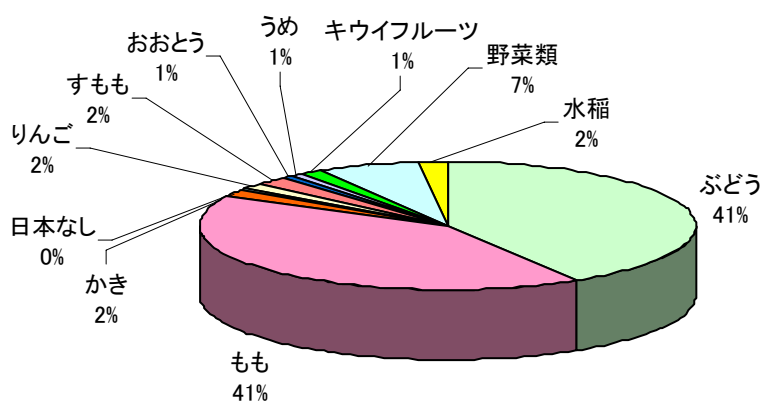


図 3.2-3 山梨市の作物別収穫量の構成比

③工業（製造品出荷額）

山梨市の工業の現況等を製造品出荷額で見ると、山梨市全体では約 393 億 4 千 7 百万円（平成 15 年度）となっています。そのうち、山梨地域が約 364 億 3 千 4 百万円（93%）、牧丘地域が約 29 億 1 千 3 百万円（7%）となっています。*1

表 3. 2-5 山梨市の製造品出荷額（平成 15 年）

地域名	山梨	牧丘	三富	山梨市
製造品出荷額等 （万円）	3, 643, 389	291, 320	x *2	3, 934, 709

（資料：山梨県統計データバンク 市町村別工業統計）

*1 公開されていないデータは含んでいません。（*2 参照）

*2 データが公開されていないことを表すものであり、値がゼロであることを示すものではありません。

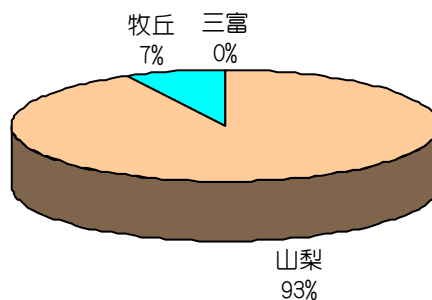
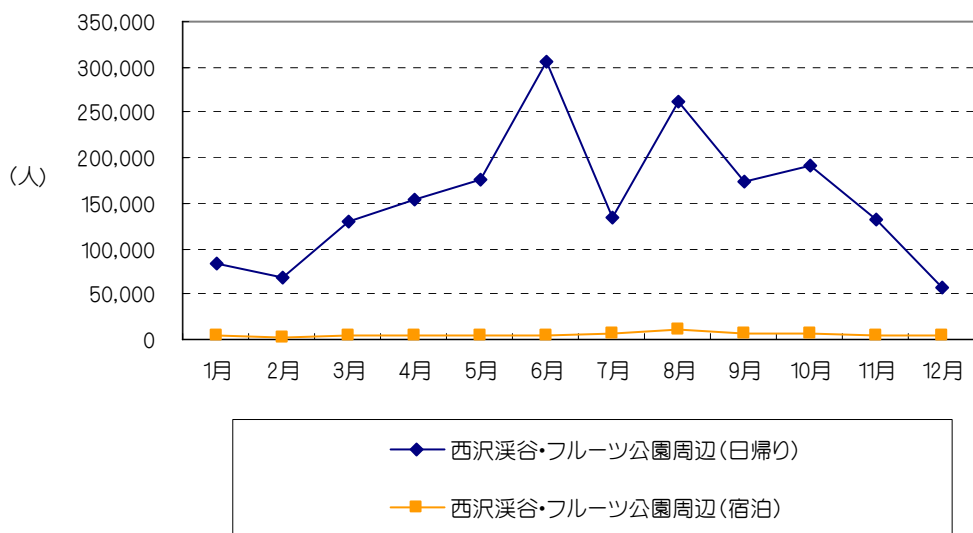


図 3. 2-4 山梨市の製造品出荷額の割合（平成 15 年）

(3) 山梨市の観光入り込み状況

山梨市における主な観光地は、西沢渓谷とフルーツ公園周辺です。日帰りでは、6月と8月に訪れる観光客が多く、また宿泊観光客数は8月にピークに達しています。



(資料:山梨県統計データバンク)

図 3.2-5 山梨市の主な観光地の月別観光客数の推移 (日帰り、宿泊)

(4) 交通

①JR

山梨市は、市内を中央本線が通っています。JR 中央本線では、山梨市駅から首都圏（新宿）まで特急で約 1 時間半の圏内で結ばれています。

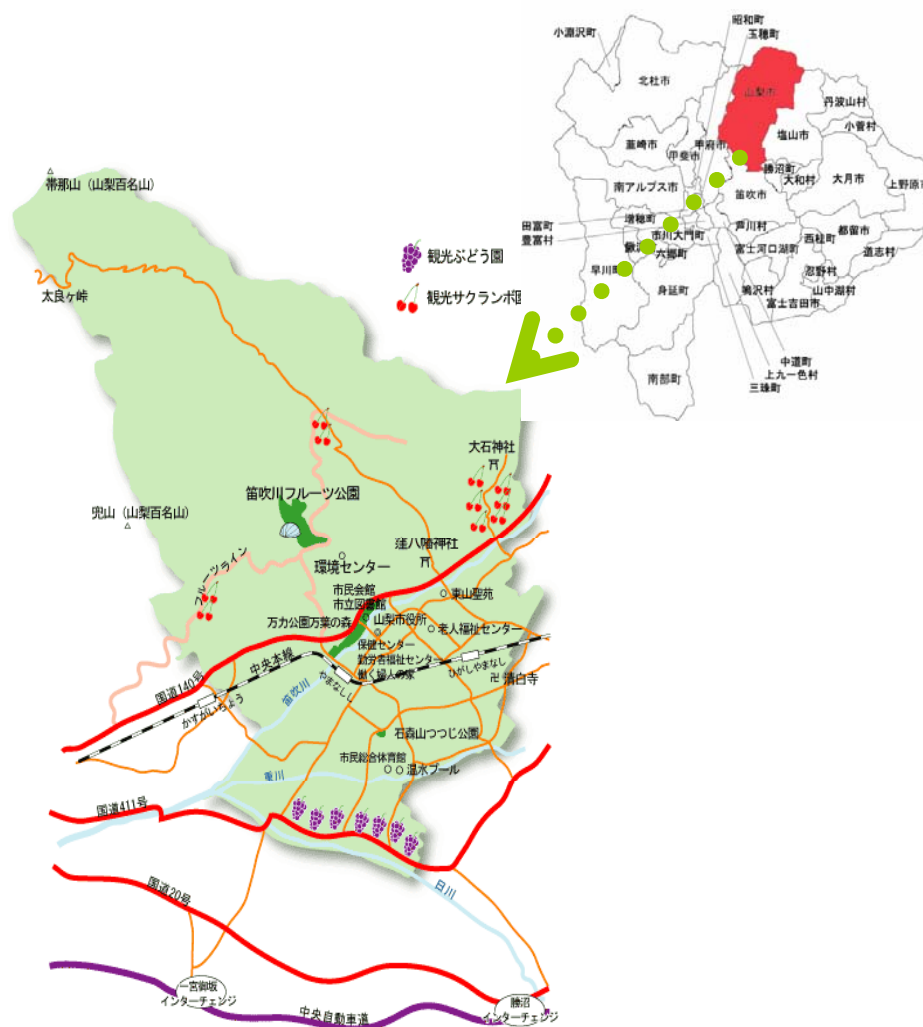
地域内には JR 中央本線として山梨市駅、東山梨駅の 2 駅があります。

便利なアクセスは、首都圏近郊の観光地としての集客力にも一役買っています。

②広域交通網

市外南部を中央自動車道が通っており、勝沼 I.C と一宮御坂 I.C からそれぞれ 20～30 分程度でアクセスが可能です。

市内の主要道路としては、国道 140 号線及び 411 号線があるほか、市内の主要観光施設であるフルーツ公園及び北部の西沢渓谷へのルートも整備されています。



(5) 上下水道の普及率

①上水道

山梨市における水道施設の普及状況は下表に示すように、簡易水道・専用水道により普及率 97.8%（平成 15 年 3 月末現在）となっています。

表 3.2-6 山梨市における上水道普及状況

地域名	施設数 合計	給水人口 合計	上水道 箇所数	上水道 給水人口	簡易水道 箇所数	簡易水道 給水人口	専用水道 箇所数	専用水道 給水人口	普及率
山梨	11	32,093	1	31,100	10	993	—	—	98.8
牧丘	16	5,721	0	0	16	5,721	0	0	93.0
三富	3	1,237	0	0	3	1,237	0	0	94.6
山梨市	30	39,051	1	31,100	29	7,951	0	0	97.8

(資料:山梨県統計データバンク 上下水道)

②下水道

山梨市は峡東流域下水道の整備区域となっており、普及率は表の通りとなっています。普及率 36.5%、水洗化率 63.4%という現状です。

表 3.2-7 山梨市と山梨県の下水道普及状況

	行政人口 (人)	処理区域内人口 (人)	水洗化人口 (人)	普及率 (%)	水洗化率 (%)
山梨市	39,325	14,352	9,101	36.5	63.4
山梨県	880,947	454,572	366,301	51.6	80.6

(資料:山梨県 HP)

(6) ゴミ処理

ゴミ収集量は年間合計で約 12,000 t、うち 9 割以上が可燃ごみとなっています。月別推移では 1 月、2 月の冬の時期に少なくなる傾向が見られます。

可燃ゴミに占める生活系の比率は約 8 割、生ゴミ・厨芥類の占める割合は約 3 割程度と推定されます。

表 3.2-8 山梨市のゴミ収集量と内訳*の月別推移 (単位：t)

種別		平成16年度												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全体	可燃ゴミ	953	1,000	887	982	1,062	979	1,015	886	982	804	700	886	11,136
	その他	74	68	59	62	68	59	61	61	80	53	46	63	754
	合計	1,026	1,067	946	1,044	1,131	1,038	1,077	947	1,062	857	747	949	11,889
可燃ゴミ 種別	排出源別													
	生活系	776	826	709	798	873	799	833	706	785	628	530	686	8,617
	事業系	199	198	201	211	212	203	207	211	228	218	195	235	2,519
	種別													
	生ゴミ・厨芥類	226	282	247	263	300	273	280	249	265	225	197	243	3,051
	廃棄紙類	308	326	286	304	347	316	324	288	307	261	227	281	3,574
	その他	298	273	239	255	291	265	272	241	257	218	190	235	3,035

*可燃ゴミの内訳は推定値

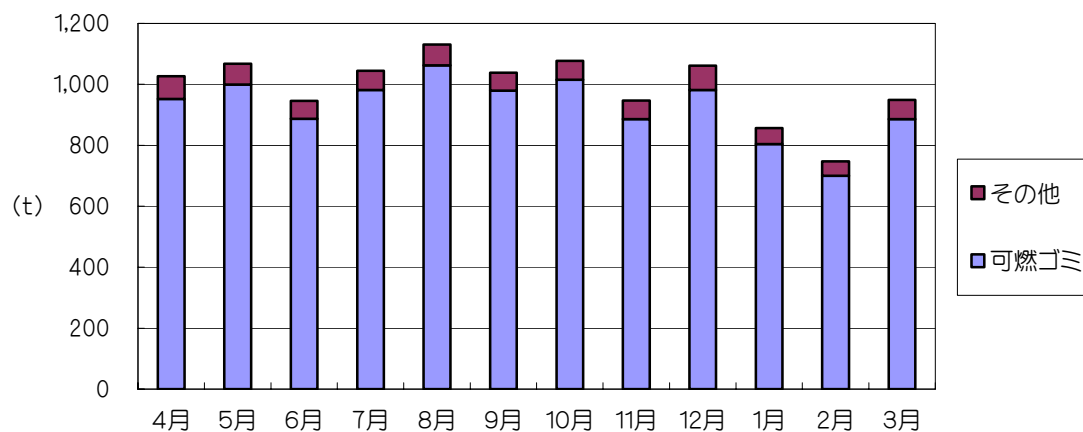


図 3.2-6 山梨市のゴミ収集量の月別推移

(資料:山梨市調べ)

3.3 山梨市の自然環境資源

山梨市は地域の約8割を森林が占め、北部は国立公園にも指定されている秩父山系や西沢渓谷などの美しい自然に恵まれています。

また、中部の牧丘地域を中心とした丘陵地域は、肥沃な土地を生かした日本でも有数の果樹栽培地域となっています。

南部の山梨地域は、やはり優れた果樹栽培地域であると同時に、第3次産業と複合した観光業が特徴的です。

これらの豊かな自然と景観、その恵みを生かした多様な営みが地域の活力源となっています。

山梨市の自然資源

花と植物			
			
ワレモコウ	タチフクロ	ヤマハハコ	ノアザミ
			
レンゲツツジ	シモツケ	シシウド	マツムシソウ
			
ハンゴウソウ	コウリンカ		
食			
			
こんにゃく	猪豚料理	ほうとう	ブドウ
			
イチゴ	りんご	もも	サクランボ



秩父多摩甲斐 国立公園

- ★森林浴の森百選
- ★日本の滝百選
- ★新日本観光地百選
- ★21世紀に残したい日本の自然百選
- ★水源の森百選
- ★美しい日本の歩きたくなる道500選

山梨市

秩父市

塩山

笛吹市

勝沼町

清白寺仏殿

フルーツ公園

帯那山

兜山

小檜山

乾徳山

黒金山

国師ヶ岳

鶏冠山

甲武信ヶ岳

破風山

雁坂嶺

甲斐の道・秩父往還

笛吹川水源の森